

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2013年7月定例会議議事録

◎ 開催期日：2013年7月18日（木） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆KD JAPAN	関西潜水連盟	松村	卓也
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	筑波大元教授	吉田	章

効率損

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① Cカード協議会新規事業について

- ・ 吉田元教授より、アカデミックインストラクター（大学授業を請け負う担当者）の研修プログラムについて具体案の説明があり、同説明内容について協議された結果、説明内容については特に反対および修正意見はなかった。
- ・ 大学営業プログラム実行委員より、研修プログラム構築には経費約1,500,000円が見込まれ、研修参加費30,000円で50名の参加を得たところで、先行投資が回収されるとの報告があった。
- ・ 本会議出席者より、研修プログラムだけではなく、アカデミックプロモーションマネージャー（大学営業担当者）の研修プログラムおよび営業ツールの内容を早期に構築するべきとの意見があった。
- ・ 上記に対し、早急に実行委員会を開き、アカデミックプロモーションマネージャー（大学営業担当者）の研修プログラム案および営業ツール案を作成することになった。

② 事故対策の件

- ・ 事務局より、昨年から事故件数が増加の傾向となっていることが再確認された上で、C協としての対策が必要との提案があった。
- ・ 出席者意見として、HP他可能な媒体を通じ啓蒙を継続していくべきとの提案があり、これを実行していくことが再確認された。
- ・ 上記を踏まえ、事務局が啓蒙するための告知文を作成し、各社がこれにリンクを張り、より広く啓蒙していくことが決められた。

③ 第2回ダイバー自身の安全対策セミナー10月開催について

- ・ 大阪に拠点を置く大阪地区安全対策協議会（OSSC）が、第5管区保安本部協賛の下、第2回OSSC安全ダイビング勉強会を実施していることから、C協が第2回ダイバー自身の安全対策セミナーを大阪で実施するためには、同OSSCに対し、事前にC協の予定を連絡したうえで、協力を依頼するべきとの意見があった。
- ・ 上記意見に対し、事務局がOSSC会長青山氏に連絡をとり、C協の予定について事前に説明することとなった。

以上